

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人酒井祝成の上告趣意中、判例違反をいう点は、原判決のいかなる部分が  
いかなる判例に違反するかを具体的に主張せず、その余は、事実誤認、単なる法令違  
反の主張であつて、すべて刑訴法四〇五条の上告理由にあたらない。また、記録を  
調べても、同法四一條を適用すべきものとは認められない。

よつて、同法四一條、三八六条一項三号により、裁判官全員一致の意見で、主  
文のとおり決定する。

昭和四四年一〇月一五日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	草	鹿	浅 之 介
裁判官	城	戸	芳 彦
裁判官	色	川	幸 太 郎
裁判官	村	上	朝 一